第136回（平成20年度第11回）理事会議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成21年4月30日（木）19：00～21：00
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館4階第4研修室（横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事：（副会長）山田 隆、佐藤 嘉彦
（専務理事）片 忠夫
（常務理事）木村 徳善、上田 英之
（理事）徳本 進、金子 理人、国島みどり、安藤 努、百海 廷、
岡本 洋一、岡田 良平、小池 光、斎藤 幸雄、吉岡 去私、
大澤 康之
欠席理事：（会長）河野 洋平
（書面票決）（副会長）野地 澄雄
（常務理事）三塚 康雄、菊地 富士夫
（理事）吉野 大成、荻野 恭宏、清水 忠、平賀 淳夫
（監事）木村 信吉
4. 出席監事： 内海 雄三
5. 議長選出： 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出： 岡本 洋一理事、吉岡 去私理事を選出
7. 書記： 古澤 誠司広報委員を指名
8. 議 事
開 会 山田副会長が開会の挨拶を行った。

1) 片専務理事より、今回の理事会はカレンダー委員会を兼ねている旨の説明があった。また、今回の理事会の主眼は、本部別事業方針説明のレビューであるため報告事項等は各本部まとめて行うこととした。

(1) 報告事項

①競技本部

吉岡理事より、競技本部のモデル事業のマニュアルが完成したので次回理事会で説明することの報告があった。特に行事関係では、ノルディック・スプリングキャンプ/FIS のスノーボード行事の中止を考えているとの報告があり、了承された。尚、本日菊地本部長は八幡平でジュニア合宿に同行しているため欠席です。

②教育本部

木村本部長より、教育部会を2回開催した。審議提案については、13日の理事会に提案したいとの報告があり、了承された。

③総務本部

慶弔関係：（上田本部長）

上田本部長より、三塚常務理事の御母堂のご不幸に際し、生花・香典・弔電の支出を行ったとの報告があり、了承された。

広報委員会：（安藤理事）

安藤理事より、「SAKだより57号」がWeb配信（前回理事会で承認済み）で行う報告があり、了承された。

(2) 審議事項

①総務本部執行方針（案）について

上田本部長より、別紙のとおり提案がなされ、承認された。質疑応答は下記のとおり。

(片専務理事)：賛助会費の予算を0円で予算化したとあるが、賛助会費は実際にあるのか？

(上田本部長)：青少年育成があります。

(佐藤副会長)：総論については、賛成だが各論の部分で意見を二つ言いたい。

- ・協賛会員、賛助会員、SAK会員制度の具体的な方策が見えるようにして欲しい。
- ・収支均衡は「支出+固定費」で考えるべきと考える。固定費を行事ごとに一定の比率にするのか金額にするのかは検討して欲しい。

(上田本部長)：前回の理事会で説明したガイドラインに沿って行っています。SAK 会員制度については、課題を整理して予算案に盛り込んでいきます。

②教育本部執行方針(案)について

木村本部長より、別紙のとおり提案がなされ、承認された。質疑応答は下記のとおり。

(片専務理事)：事業はいくつ減ったのか？

(木村本部長)：13行事です。

(佐藤副会長)：分散開催は減ったことにならない。追加事業である。他の行事にぶつけず、みんなが行ける日程を設定したらどうか。

(片専務理事)：赤字事業を減らすのは進めるが、協賛会員の拡大など新たな視点で新規事業を考えて欲しい。五竜などに一極集中を避け会場を分散させる、岩鞍に行きたいというニーズにも対応していく視点が必要がある。

(木村本部長)：岩鞍の件は検討します。また、養成講習会は、行事単独で黒字化されている。研修会についても黒字化されると考えている。

(佐藤副会長)：パトロール事業関連とあるが、安全対策事業ではないのか？競技会に参加することをメインにするのではなく、実演/雪上での安全対策の普及を進めた方が良い。

(木村本部長)：予算は前年比70%程度に抑えた。また、参加行事については精査します。

(片専務理事)：理論を3日予定しているのは、なぜか？

(木村本部長)：規定で11時間の受講が必要となっています。二日間は最低でも必要です。また、5,000円/回の受講料を予算化しています。場所についても安価な所を選択するように検討します。

(片専務理事)：行事一覧についてはSAJ/SAKを分けた方が見やすい。

(木村本部長)：春の評議員会まで直します。ツールも同様にします。

(徳本事務局長)：前回の理事会で準指導員の単位制の有効年度を5年としたが、本部方針ではSAJの方針を見ながら最終的に決定するとあるが、明確にして欲しい。

(木村本部長)：最終的には、SAJの方針を見ながらとなるが、現在は5年で考えている。

(佐藤副会長)：種目が変更になったらどうするのか？

(木村本部長)：SAJも同じ状況なのでSAJに合わせることになる。

(佐藤副会長)：有効年度を延ばす理由を明確にしておいたほうが良い。

(木村本部長)：受験者のレベルがばらつく中で指導者のレベル向上を目指しています。また、最後まで受験をあきらめないで欲しいという目的があります。

(上田本部長)：BC検定の日程は、これでいいか？

(木村本部長)：前年は、合格率にばらつきがあり問題なしとは言えないのでバジジテストができる日程などを考えたいと思います。

③競技本部執行方針(案)について

吉岡理事より、菊地本部長欠席のため、今回は執行方針案及び事業計画案が提示できなかったため次回理事会に持ち越しとすることにした。

但し、行事について下記議論がされた。

(吉岡理事)：国体予選が1週間前倒しになる可能性があり、各種行事を見直す予定です。

(片専務理事)：行事の会場費についても、よく調整して欲しい。特に上越国際は高いので費用が下がらない場合は鹿沢も視野にいれるべきである。

(山田副会長)：行事は重なっても良いのでは？スタッフが大変だが。

④平成21年度予算案について

金子理事より、別紙のとおり提案がなされ、承認された。

今回のポイントとしては、

- ・ 事業収入が約300万円マイナス、全体では約700万円マイナス
- ・ ただし、支出も同額程度のマイナスとなっており健全に推移している。
- ・ 押川基金については、フォーマット含め公認会計士にチェックしてもらう。

ことの説明があった。質疑応答は下記のとおり。

(岡本理事)：事業を減らしているのに現地総務作業費が減っていないのはなぜか？
会計委託費が横ばいになっているが、価格交渉はどうなっているか？

(金子理事)：精査します。会計委託費はこれから支払いのため未交渉になっています。

(佐藤副会長)：県連の姿勢として、ハンディキャップにもっと厚い予算割付が必要なのではない
か？

(上田本部長)：賛助会費分を予算化しています。前年よりは増加しています。

⑤監事報告

特になし。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成21年 5月 11日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印